



2023年2月16日

各位

会社名 三菱ケミカルグループ株式会社  
代表者名 代表執行役社長 ジョンマーク・ギルソン  
(コード番号: 4188 東証プライム市場)  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション本部長  
清水 治  
TEL. 03-6748-7120

## 2023年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2023年2月14日に公表しました通り、Novartis Pharma AG (以下「Novartis社」)が当社の連結子会社である田辺三菱製薬株式会社 (以下「田辺三菱製薬」)に対して申し立てていた、Novartis社の製品(「ジレニア」)に関するロイヤリティ支払いについての仲裁手続きに関して、2023年2月13日に仲裁廷より仲裁判断を受領したことに伴い、2023年2月7日に公表しました2023年3月期通期業績予想を修正しましたのでお知らせいたします。

記

### 1. 2023年3月期通期連結業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上収益	コア営業利益	営業利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前回発表予想 (A) (2023年2月7日発表)	億円 45,140	億円 2,000	億円 710	億円 650	億円 280	円 銭 19 69
今回修正予想 (B)	46,400	3,260	2,000	1,550	1,180	83 00
増減額 (B-A)	1,260	1,260	1,290	900	900	
増減率 (%)	2.8	63.0	181.7	138.5	321.4	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	39,769	2,723	3,032	2,094	1,772	124 68

税引前利益 前回発表予想 570億円 今回修正予想 1,860億円

注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な原因により発生した損益(非経常項目)を除いて算出しております。

### 2. 業績予想修正の理由

Novartis社はライセンス契約のロイヤリティ支払い義務を定める規定の一部は無効であるためロイヤリティ支払い義務がないことを主張しておりましたが、仲裁廷より当該規定は全部有効であるとの判断が2023年2月13日になされました。これに伴い仲裁手続き中にIFRS第15号に従い売上収益として認識していなかったロイヤリティについて、2023年3月期第4四半期で一括して売上収益として認識することとなりました。また、あわせて当該仲裁手続に対して田辺三菱製薬で要した費用の一部についてもNovartis社が負担することとなり、2023年3月期において売上収益約1,260億円、その他営業収益約30億円を計上する見込みとなりました。

<ご参考>

セグメント別通期業績予想（コア営業利益）

（億円）

	今回修正予想	前回発表予想	増減額
機能商品	680	680	-
ケミカルズ	120	120	-
産業ガス	1,130	1,130	-
ヘルスケア	1,340	80	1,260
その他	△10	△10	-
合計	3,260	2,000	1,260

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績等は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上